

【経営の原点 12 か条】

稲盛 和夫

1. 事業の目的、意義を明確にする。

公明正大で大義名分の高い目的を立てる。

(全従業員の、物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する)

2. 具体的な目標を立てる。

立てた目標は常に社員と共有する。

3. 強烈な願望を心に抱く。

目標の達成のためには、潜在意識に透徹するほどの、強く持続した願望をもつこと。

4. 誰にも負けない努力をする。

地道な仕事を一步一步、堅実にたゆまぬ努力を。

5. 売上を最大限に、経費は最小限に。

6. 値決めは経営。

値決めはトップの仕事、お客様も喜び、自分も儲かるポイントは一点である。

7. 経営は強い意志で決まる。

うが

経営には岩をも穿つ強い意志が必要。

8. 燃える闘魂。

経営には、いかなる格闘技にも勝る激しい闘争心が必要。

9. 勇気をもって事に当たる。

卑怯な振る舞いがあるてはならない。

10. 常に創造的な仕事を行う。

今日より明日、明日よりあさってと常に改良改善を絶え間なく続ける、創意工夫を重ねる。

11. 思いやりの心で誠実に。

12. 常に明るく前向きで、夢と希望を抱いて素直な心で経営する。

所長の小言

世間に対して見栄張るな

世間に対して見栄張るとお金がかかります。見た目は大事ですが見栄は苦しいです。自分以上を他人に見せても意味がないです。